

平成28年度 山口県学力定着状況確認問題の結果について【小学校】

下松市教育委員会

結果の公表に
あたって

平成28年度「山口県学力定着状況確認問題」(平成28年10月26日実施)の結果についてお知らせします。

本問題は、小学校3～6年生と中学校1、2年生を対象とし、国語、算数・数学(小学校5年生は社会・理科、中学校2年生は社会・理科・英語も実施)の学力の状況や児童生徒の生活習慣、学習環境の状況を調査し、県内すべての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図ることを目的として実施しました。

今回の結果をもとにして、本市におきましても、学校と家庭・地域が連携・協働し、一体となった取組を推進して参ります。

教科に関する
問題の結果に
ついて

(下松市)

【国語】6年生は県平均正答率を上回り、昨年度よりもさらに伸びが見られる。

5年生は記述式問題が県平均正答率を下回り、課題が見られる。

【算数】3年生、4年生、6年生は県平均正答率を上回っている。5年生は記述式問題が県平均正答率を下回り、課題が見られる。

【社会】県平均正答率を下回っている。記述式問題について課題が見られる。

【理科】県平均正答率とほぼ同程度である。

→ どの教科においても、**記述式問題(考えを書く、理由や方法を説明する等)**に課題が見られ、授業等において「**書く力**」の育成を図る必要があります。

◎ (市平均正答率の高かった問題) ▲ (市平均正答率の低かった問題)

国語

- ◎ 漢字を正しく読みだり、書いたりすること(3年・4年・5年・6年)
- ◎ 国語辞典の正しい使い方を理解すること(3年・5年)
- ◎ 漢字辞典の正しい使い方を理解すること(6年)
- ▲ 文中の主語、述語を捉えること(3年・5年・6年)
- ▲ 目的や意図に応じて自分の考えを書くこと(3年・4年・5年)
- ▲ 筆者の主張を捉えること(6年)



算数

- ◎ 繰り上がりのある加法の計算をすること(3年・4年)
- ◎ 同分母の分数の減法をすること(5年)
- ◎ 小数の減法の計算をすること(6年)
- ▲ 問題場面から情報を整理し、理由や方法等を説明すること(3年・4年・5年・6年)
- ▲ 除法のきまりについて理解すること(5年)
- ▲ 単位をそろえて直方体の体積を求めること(5年)



社会

- ◎ 日本の西側にある大陸の名前について理解すること
- ▲ 複数の資料を関連付けて必要な情報を読み取ること
- ▲ 条件に合う都道府県を指示通りに示すこと



理科

- ◎ 電気を通すものと通さないものについて理解すること
- ▲ 正しい実験を行うために、必要な条件制御について記述すること
- ▲ 種子の部分の名称と、養分の有無を確かめる方法について記述すること



課題の見られた
問題例

国語 文の中における主語、述語を捉える問題 【3年・4年】

○ つぎの文の「主語」と「じゅつ語」はどれですか。アからエまでの中から一つずつえらび、記号で書きましょう。

ぼくは、おばあちゃんに 手紙を 書いた。

ア イ ウ エ

* 3年生は平均正答率が50%を下回り、県平均正答率よりも低い状況が見られました。4年生の平均正答率は60%程度でした。

算数 言葉や数を使って説明する問題 【6年】

○ 平成27年11月1日に行われた第8回下関海きょうマラソンで、フルマラソンの部に出場した人は、約9500人でした。この数は、四捨五入で百の位までのがい数にしたものです。

<先生> 出場者は、9500人以上9549以下ということでしょうか。

<ゆきさん>先生、それは間違っていると思います。なぜなら、…

ゆきさんの発言を、「なぜなら、…」に続けて、言葉や数を使って書きましょう。

* 県・市ともに平均正答率が30%程度の状況が見られました。

社会 条件に合う都道府県を指示通りに示す問題 【5年】

<新潟県が塗りつぶされた日本地図を提示>

○ 米の収穫量の多い都道府県上位五つに色をぬります。新潟県のぬり方を参考にして、解答用紙の日本地図に、残りの四つをえん筆でぬりましょう。

順位	都道府県名	米の収穫量 (t)
1	新潟県	61万9200
2	北海道	60万2600
3	秋田県	52万2400
4	山形県	40万0900
5	福島県	36万5400

* 平均正答率が40%を下回り、県平均正答率よりもやや低い状況が見られました。

★ **学 校**

- **学校の組織的取組の強化**
(教科・学年の枠を超えた研修の推進、学力向上プランの見直し・改善等)
- **児童生徒の「学習力」の向上をめざす授業改善**
(「キラリくだまつ授業づくり」の活用、誤答分析を生かした授業改善等)
- **校内研修の活性化と指導の充実**
(研究授業や活用力を高める研修の充実、「やまぐち学習支援プログラム」や「学力定着状況確認問題」の活用、個に応じた補充学習等)

★ **家庭・地域**

- **学習・生活習慣の確立**
(「家庭学習の手引き」等の活用、家庭における生活習慣の見直し等)
- **コミュニティ・スクールを生かした学習支援**
(地域の人材の活用等)



★ **下松市教育委員会**

- 「キラリくだまつ授業づくり」の実践事例の紹介
- 課題と考えられる状況等の情報提供
- 学校訪問等による指導・助言
- 活用力を高める授業づくりに関する指導・助言
- 下松市学習指導実践研究校の指定
- 下松市教育研究所における実践研究とその普及